

ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2500

2023-24年度
国際ロータリー第2500地区第6分区

IM(都市連合会)
・懇親会「友情の宴」

2023-24 INTERCITY MEETING

テーマ
「不易流行 -クラブが主役-」



世界に希望を生み出そう

とき

2024年3月30日(土)
13:00~19:10

会場

ホテル日航ノースランド帯広

Rotary
District 2500
Group 6





世界に希望を生み出そう

2023-24年度
国際ロータリー第2500地区第6分区
IM(都市連合会)実行委員会

∞ 主 宰 ∞

ガバナー補佐 田中 義博

∞ ホストクラブ ∞

音更ロータリークラブ/帯広東ロータリークラブ

ホストクラブ会長 阿部 英輝

コ・ホストクラブ会長 池田 誠

∞ 事務所 ∞

河東郡音更町木野大通西7-1 ハピオ木野2F

TEL 0155-30-2347



2023-24年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度 RI 会長
South Queensferry ロータリークラブ所属
スコットランド、ウェストロージアン

エディンバラの王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位を取得。2016 年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。また、長老会のリーダー、クイーンズフェリー教区会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。1984 年、26 歳でロータリーに入会。South Queensferry (サウス・クイーンズフェリー) ロータリークラブに所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー (RIBI) の会長と副会長、RI の理事と委員会メンバー (2022 年ヒューズトン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長など) を務めた。

新しいロータリークラブやグループを築くために会員と協力できるのを楽しみにしており、「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこでも参加できるロータリーとなること」と話す。英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者であり、同団体と RIBI とのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった子どもたちを支援。開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供する Grantham Kesteven ロータリークラブ (英国リンカンシャー) のイニシアチブ「Trade-Aid」も後援しているほか、国立の精神保健機関である Bipolar UK のアンバサダーを務めている。

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん (ロータリアン) とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会会員となっている。孫娘たち (アイビーさん、フロレンスさん) が幸せに暮らせるより良い世界をつくるために、会長として全力を捧げたいと考えている。

世界に希望を生み出そう

ロータリー会員として今ほど素晴らしいときはないでしょう。私たちはロータリーで素晴らしく歴史的な年度の真ただ中にいます。正直なところ、この年度を早く終わらせたいと思う人はいないでしょう。

ですから、終わらせるのではなく、新しいはじまりを作りだそうではありませんか。年度の扉を閉めるのではなく、次年度への橋を築こうではありませんか。なぜなら、川が流れているなら、それを渡る方法があればありがたいからです。

私はかつて毎日、エディンバラにある私の歯科医院に車で通勤し、フォース川にかかるいくつかの有名な橋を通りすぎるときに、その例を目にしていました。これらの橋をご存知の方もおられると思いますが、これらは見事なエンジニアリングの象徴です。

フォース鉄道橋は、1890年に開通しました。

フォース道路橋は1964年、最近ではクイーンズフェリークロッシング橋が2017年に開通しました。フォース橋の鉄道橋と道路橋を見ていつも感動するのは、これらがビジョンをもつ人たちによって建てられたということです。それは、決して会うことのない人たちのためのビジョン、決して知り合うことのない人たちのためのビジョン、それによって生活が改善される人たちのためのビジョンです。そのビジョンは、フォース橋の場合のように、建設から133年経った後も、利用者たちからありがたいがられています。ロータリーの私たちのビジョンが、牽引を受ける人たちからありがたいがられているように。

今、ご自分の頭の中で橋のロゴを思い浮かべ、それがテーマと関連しているだろうと知っている方がいたら、そこでその考えをやめてください。たとえ話がすべてテーマであるわけではありません。同じように、次年度に皆さんが行うすべてのことが、これから発表するテーマの推進と支援にかかわるわけではありません。

私たちは、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的なときであり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし、私たちの最も優れた仕事のいくつかは、ほかの人たちの継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。ジョーンズ会長とほかのロータリーリーダーたちが始めたことを土台として、今後さらに大きな成果が成し遂げられるようにしていきましょう。これからの私の仕事、そしてすべてのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。

継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

私たちは詩人マヤ・アンジェロウの次の言葉からインスピレーションを得るべきです。「続けましょう／自分らしくあるために／思いやりある行いで／不親切な世界をあとと言わせるために」

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたロータリー会長たちの継続へのコミットメントを、私たちは目にしてきました。その結果は驚くべきものです。ローターアクトたちは引き続き、ロータリーで全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなることへの熱意を示すことで、私たちを勇気づけています。ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し、支えあう新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちにかかっています。

継続のもう一つの優れた例に、女兒のエンパワメントがあります。ジョーンズ会長は、メータ会長のプログラムを継続することでこの素晴らしい模範を示しました。この取り組みは、多くの点でロータリーが長年積み重ねてきたものであり、メータ会長がそれに名をつけて拡大させたのです。私の孫娘アイビーとフローレンスのように、世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、私はこれらの会長の仕事を引き継いでいくことを明確にしました。

私はまた、すべての行いにおいて多様性、公平さ、インクルージョンを促進するためにロータリーが遂げてきたすべての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。会員数は非常に重要ですが、DEIを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、どこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。人びとがロータリーを見たとき、そこに自分自身を見ることができるようになります。そうなることができるかどうかは、私たち次第です。

継続にはほかに二つの側面があり、それらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。一つ目は、ポリオです。ポリオの根絶が依然としてロータリーの最優先事項であることはご存知だと思います。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間を、私たちは誇りとすることができそうです。

根絶の実現にどれだけ近づいているか、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返して言わたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私たちに必要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

最近、世界の主要都市でポリオが発生したことで、この恐ろしい病の根絶に再び注目が集まっています。根絶が実現した暁には、ロータリーは大きな歴史的称賛を受けるに値します。

ですから、各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考え、できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを私たちが提供すべき時が来ています。新たな緊急感を生み出し、世界の子どもを脅かす流行がさらに発生する前にポリオを根絶できるという希望を生み出すために、皆さんの力が重要です。ロータリーの夢を現実のものとするために、皆さんの力が重要です。

ポリオワクチンの開発者であるジョナス・ソーク博士の次の賢明な言葉に、耳を傾ける必要があります：「希望は、夢を現実にしたいと強く願う人たちの夢、創造力、そして勇気の中にあります」。この言葉は、私たちのすべての活動にとって意味があり、ロータリー行動計画のあらゆる側面に当てはまります。この行動計画は、希望を生み出し、変化に必要な知識と勇気をロータリー会員に与えるものです。これを成し遂げるには、

- ・ 既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。
- ・ 互いに、そして私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接しましょう。
- ・ 世代や国境を超えて活動し、関係を築くためのあらゆる機会を探し求めてください。
- ・ 世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を、進んで受け入れてください。

そのために、ロータリー行動計画の目標においてほかのロータリアンと協力していただけることを願っています。なぜなら、そうするのがリーダーシップにおける継続の最良の手段であり、ロータリーのこれまでの最良の部分を土台としてさらに素晴らしいものを生み出すことだからです。

行動計画のうち、皆さん全員に既に暗記してほしいと思う部分があります。それはこのビジョン声明です：「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

ここで話の焦点を、世界と自分自身の中に持続可能な変化を生むという、ビジョン声明の二つの要素に当てたいと思います。そのために、これらのビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

一つは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私たちが行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。

過去に何度もそうしてきたように、ロータリーは歴史の呼びかけに応え、人道支援を最優先してきました。惜しみなく寄付し、仲間を一心にサポートし、ウクライナの人びとから尊敬を集めてきました。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界のほかの数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

人びとの間に新しいつながりを築き、共通点を求めて新しい機会を見つけるたびに、この土壌が耕されます。これからの1年間、私たちはパーチャルな国際交流を導入します。これについては、今週後半にお知らせします。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、すべての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れました。そこでは、2004年末の津波の後で、ロータリー会員が新しい家や集会場、保育所、医療施設の建設にあたっていました。そこで、ある女性が私に近寄ってきました。悲劇に直面した彼女は、や

つれた様子でした。その女性は、私に美しい貝殻をくれました。

この貝殻は彼女が30年以上持ち続けていたものだと言います。数少ない所持品の一つだったこの貝殻を受け取ることを、最初はためらいました。しかし彼女は、ロータリーがしてくれたことへの感謝のしるしとして受け取ってほしいと言い張りしました。後日、私は再びその女性に会い、彼女が津波で夫、娘、息子を失ったことを知りました。津波がすべてを奪ったのです。家族、家、生計を失い、そして何よりも、生き続ける希望と理由を失いました。しかし彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。

これは美しい貝殻です。私が次年度のテーマとその意味を検討していたとき、この貝殻だけでなく、存命するスコットランドの最も偉大なアーティストの一人で、Jolomo としても知られるジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使用する色にも引き付けられました。私は長年、彼の作品を愛し、収集してきました。ネクタイとスカーフの色を選んでいたとき、後ろのスクリーンでご覧いただけるように、そこに世界の色を反映させ、さらに重要なこととして、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思いました。

タイの女性との思い出とこれらの色から、私は、今私たちが何をなすべきか、どんな行動を呼びかけるべきか、テーマは何であるべきかに気づきました。そこで、2023-24年度テーマは「世界に希望を生み出そう」であることをここにお知らせします。

世界に希望を生み出そう。これが、ロータリーが世界に変化をもたらす方法です。私たちは、一つずつ新たな希望を生み出しています。このテーマはまた、自分自身の中で同様の変化を生むのを促す方法を説明するものでもあります。なぜなら、地球上の多くの人にとって、希望を失う理由は物質的な貧困だけではないからです。私たちは皆、自分たちの幸せを脅かす課題に直面しています。平和の実践に大きな勇気が必要であるのと同じように、誰かに助けを求めたり、助けを必要としていることを認めたりすることも勇気ある行動です。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの人が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代の一つが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求めること、特にメンタルヘルスの助けを求めることは弱さであると考えられています。しかし、真実から目をそむけることはできません。自分の弱さを認め、すべての答えを知っているわけではないと認めるのは、勇気が必要です。助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が必要です。

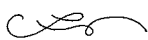
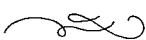
今週の後半、私がメンタルヘルスのトピックを重視する理由をご説明します。次年度、そして願わくばそれ以降も、ロータリーの会員だけでなく地域社会の人びとのためにメンタルヘルスのシステムを改善するいくつかのステップについて話をお聞きいただけます。私は、ロータリーが会員と奉仕を受ける人の両方を支える組織として知られるようになってほしいと思います。メンタルヘルスの専門家なら誰もが口をそろえてこう言うでしょう。ほかの人を助けることで、本質的に自分自身が助けられるのだ、と。

ほかの人を助けることで、ストレスが軽減され、気分がよくなり、私たち自身のメンタルヘルスと幸せのためにもなることが、圧倒的な証拠で示されています。その中で培われる友情は、素晴らしい連帯意識と仲間意識を育み、それ自体がメンタルヘルスと幸せに欠かせない要素となります。

ですから、次年度の私たちの計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人びとを癒すこと、そして、私たち自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けを求めることに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動すべてにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私たちが得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。あらゆる地域からのロータリーのリーダーである皆さんに、世界に希望を生み出すよう、心からお願い申し上げます。

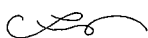
2023-24年度 国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

 **ロータリーソング** **奉仕の理想**

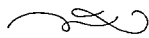
奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄よ
我等のロータリー ロータリー

手に手つないで

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つの心に
おお ロータリアン おおロータリアン
2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おお ロータリアン おおロータリアン



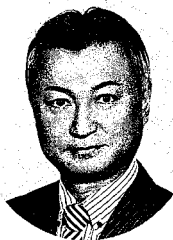
目 次



◆ ご挨拶	国際ロータリー第2500地区 ガバナー	鶴見 誠一郎 様	7
◆ ご挨拶	国際ロータリー第2500地区 第6分区ガバナー補佐	田中 義博	9
◆ 祝 辞	音更町長	小野 信次 様	11
◆ 歓迎のご挨拶	音更ロータリークラブ会長 ホストクラブ	阿部 英輝	12
◆ IM開会のご挨拶	音更ロータリークラブ IM実行委員長	大和 志郎	13
◆ プログラム			15
◆ ご来賓名簿			18
◆ 都市連合会登録クラブ			19
◆ 実行委員会名簿			20
◆ メイキャップカード			添付

IMとは

『Intercity Meeting』の略称で、都市連合会の事です。近隣の数クラブから相集まったロータリアンが親睦を深める事を主体とし、相互の出会いを大切に、知り合いを拡め、ロータリー情報や意見を交換し、ロータリーの奉仕の理想とその実践を行うための意欲を盛り上げる会合で、ガバナーの指導によりガバナー補佐が主宰する。決議や決定を行う事ではありません。



第6分区IM開催にあたり

2023-24年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー

鶴見 誠一郎 (紋別港RC)

本日ここに、国際ロータリー第2500地区 第6分区IM(Intercity Meeting/都市連合会)が盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。ゴードンR.マッキナリー国際ロータリー会長のテーマ「CREATE HOPE in the WORLD」、第2500地区のスローガン「今こそ変わる勇気を！ さあ一歩前へ」。皆様におかれましては、真摯にお受けとめ頂き、例年とは異なる発想をもとに奉仕を主としたロータリー活動に取り組んで頂いておりますことに感激し、たいへん嬉しく、感謝しているところであります。

本年元旦に発生しました「令和6年 能登半島地震」。発生からちょうど3ヶ月を迎えます。本当に痛ましい出来事、復旧や復興というのにはまだまだ道のりが遠いようにも思います。被災されました多くの方々に、心よりお見舞い申し上げる次第です。1月11日には、当地区の災害準備基金から支出し第2610地区の対策本部へ緊急一時金の送金を行なっていることを報告いたします。

このような大きな災害において、私たちは何を想い、感じて、どのような行動を起すべきなのでしょう。私たちがロータリアンである意義は…。世界のどこかで、いえ、もっと身近なところでも、私たちからの助けを待っている人たちが大勢います。言われたからする、頼まれたからする、みんながやっているからする、でなく自らが先頭に立って行動

に移す。これが理想だと考えます。Take Action!!です。

IM。日本では一般的にガバナー補佐様が主催し、1つあるいは複数の分区やグループ単位で開催されることが多く、ロータリアンが一堂に会し、その目的とされるべきは会員相互の親睦と知識を広め、ロータリーに関する情報を伝え、奉仕の理想を学ぶことです。この会合が、皆様の今後のロータリー活動の一助となり、国際ロータリーの発展につながることをご祈念申し上げます。



開催にあたってのご挨拶

2023-24年度

国際ロータリー第2500地区 第6分区

ガバナー補佐 **田中 義博**

(音更RC)

国際ロータリー 第2500地区 第6分区 IM開催に際しましてご挨拶を申し上げます。

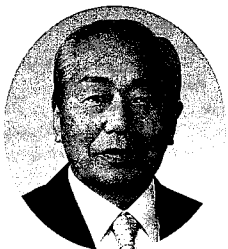
まずは、音更町長 小野信次様、ガバナー 鶴見誠一郎様、歴代のパストガバナー様、ガバナーエレクト 小谷典之様、他分区のガバナー補佐様、歴代のガバナー補佐様はじめ参加いただきましたすべてのロータリアンの皆様に心からお礼を申し上げます。

今回のIM、テーマを「不易流行 -クラブが主役-」と致しました。「不易流行」は、「不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない、しかも、両者の根本は一つである」と解釈されています。ロータリーで言う「不易」とは、「ロータリーの目的」であり、「四つのテスト」、「国際ロータリーの使命」、「国際ロータリーの標語」等でありましょう。特に、私は「国際ロータリーの標語」ロータリーのモットーである「超我の奉仕」、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の精神が「不易」にあたると考えております。変わる事のない精神を求め続けるために、また、精神そのものを豊かに膨らませるためには、時代背景やクラブ会員の変化を見据える必要があります。これが「流行」だと私は認識しています。国際ロータリーの繁栄は唯一無二であるはずの「ロータリーの目的」が変遷していることを見ることで腑に落ちます。このことは、鶴見誠一郎ガバナー様の「今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前

へ]と相通ずるものであると言えます。

さて、IMプログラムの講演は、多くの地域では従来の第6分区同様にセミナーの形式を採用しておりますが、地区(District)によりましては複数の分区(Group)が共催されたり、シンポジウムやパネルディスカッションを取り入れていることを知りました。IMの原点はプログラムにも記載されておりますが、私がガバナー補佐に指名された時点では、お恥ずかしい限りですが他のクラブ様を思うに「余りにも知らな過ぎる」ことを痛感しておりました。そこで、今回のIMは「クラブが主役」となるために、「第6分区11クラブをもっと知ろう、自分のクラブをもっと知ろう！」の絶好の機会と捉え、私を知る範囲では第6分区初となる各クラブ様からの「クラブ発表」を企画しておりました。クラブ会長・幹事様におかれましては、私のこの願いを事前にお伝えした後、悩ましかったことと推察されます。お陰様で、各クラブ様ならびにIM実行委員会の皆様の甚大なるご協力をいただき実現することができました。本当にありがとうございました。

最後に、音更クラブがホストとして開催されますのは2011年2月以来で、当時を知る会員は私を含めて12名しかおりませんので、ご尽力賜りましたホストクラブの音更クラブならびに音更クラブスポンサークラブでコ・ホストクラブの帯広東クラブ様の皆様さらには前回IMを開催されました帯広北クラブ様には衷心より感謝を申し上げます。



お祝いの言葉

音更町長 小野 信次

国際ロータリー第2500地区第6分区都市連合会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

ロータリークラブの皆様には、日頃から、会員相互の固い絆による崇高な奉仕の精神のもと、地域社会及び地域福祉の向上に大きく貢献いただいておりますことに、改めて敬意を表しますとともに、心から厚くお礼申し上げます。

ロータリークラブは、様々な分野で活躍する人々が集まり、社会奉仕や国際協力を通じて福祉に協力する素晴らしい組織ですが、本日の大会は、ロータリアンの交流や情報共有の場となり、活動に新たな刺激とモチベーションを与えてくれることでしょう。このような機会を通じて、ロータリークラブの理念や活動がより広く知られ、支持されることを期待しています。

「みんなが住みよい 選ばれるまち おとふけ」

これは、音更町の第六期総合計画における、まちの将来像です。開町124年目を迎えた今、本町は町民が安全安心のうちに暮らすことのできるまちを目指し、職員が一丸となって、持続可能なまちづくりに向けて全力を傾けて取り組んでいます。そして、それを進めるためには、周囲との支え合いや互いを思いやる気持ちが不可欠です。こうした中であって、皆様がお持ちのロータリアン精神と、「多様性」「公平性」「包括性」を表すDEIの理念を意識した活動は、まちづくりへの大きな原動力となっています。

十勝は、豊かな自然と歴史、文化と伝統、そして温かい人々に恵まれた、とても魅力ある地域です。皆様には、今後とも、まちづくりのパートナーとして、地域の発展のため変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本大会が実り多きものとなりますことを、そして皆様のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



歓迎の挨拶

ホストクラブ
音更ロータリークラブ

会 長 阿 部 英 輝

音更ロータリークラブ 本年度会長を仰せつかっております、阿部英輝です。

本日はご多用の中、音更町長 小野信次様 国際ロータリークラブ第2500地区ガバナー 鶴見誠一郎様はじめとするご来賓の皆様、同志であります6分区の皆様よりこの様に多くのご参加頂きまして、心より感謝申し上げます。

音更クラブ田中ガバナー補佐は13年ぶりで二人目のガバナー補佐です。このIMを開催できた事大変嬉しく思います。

今回のテーマ 『不易流行』 いつまでも変わらない本質的なものを大切にしながらも、新しいものを取り入れることを意味します。

このテーマに沿って、これからも必要であろう情報や社会情勢何よりロータリー会員相互の親睦であります。これを機会に私たちロータリアンの絆の一助になれば幸いです。

本日のIMは田中ガバナー補佐、大和IM実行委員長を中心に会員全員で準備を進めてまいりました。不備な点もあろうかと思いますが会員一同皆様をおもてなしさせて頂きますので最後まで楽しんで頂きたいと思っております。



IM開会のご挨拶

音更ロータリークラブ

IM実行委員長 大和 志郎

第6分区ロータリアンの皆様こんにちは。本日は2023-2024年度RI第2500地区第6分区都市連合会(IM)にご参集していただき誠に有難うございます。

新型コロナが5類に分類されたとはいえインフルエンザとともにまだまだ社会に影響を与えています。その中でこのように沢山のご参加をいただいたことに感謝申し上げます。会場の感染対策にしたいがい、十分に配慮のうえで運営してまいりますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

また、物価高騰の影響を受け、これまでの登録費での運営は困難となりましたので今年度の登録費を値上げさせていただきました。会員の皆様にはご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

今回のIMは帯広東RCと音更RCが担当となっています。田中ガバナー補佐の発案により今年度は講演を各クラブからの活動内容のご紹介をいただくことになっております。本日までにスライド作成等の準備をいただき感謝申し上げます。このクラブ紹介を通して他クラブへの理解を深め、また自クラブを見つめ直す機会となれば幸いです。

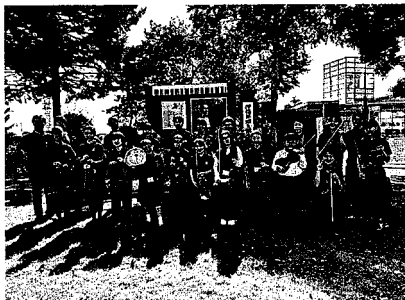
また、本日は小野信次音更町長様をはじめ、鶴見誠一郎ガバナー、パストガバナー、元ガバナー補佐の皆様の多数のご列席を賜り、心よりお礼申し上げます。

本日のIMが、今後のロータリー活動の一躍となればと期待し開会の挨拶とさせていただきます。なお当実行委員会のIM準備等に不行き届きの面もあろうかと思いますが、ご容赦いただければ幸いです。

音更町伊福部昭記念 ジュニアオーケストラ

(泉大樹団長、団員20人)

2017年秋に設立。映画「ゴジラ」の音楽で有名な音更町ゆかりの作曲家である故伊福部昭さんを記念して結成された小学生から高校生までが所属している子供たちによるオーケストラです。音更RCも奉仕活動の一環として楽器寄贈をおこない活動を支援しています。IMのオープニングセレモニーで演奏を披露していただきます。



郷土芸能音更駒太鼓保存会

(葛岡美英会長、会員約30人)

音更町駒場地区に総面積4000ha以上の家畜改良センター十勝牧場があります。明治43年に内閣馬政局によって十勝種畜牧場として設立され、ここから日本全土に軍馬や農耕馬が提供されました。音更町も開拓者と農耕馬の力によって開拓、開墾がなされ現在の発展があります。その開拓に従事した人々の苦勞を地域の子供達に伝承し文化を伝えていくために昭和51年に町民有志の熱意により郷土芸能・音更駒太鼓として設立されました。町内外の各種イベントで演奏活動を続け、郷土芸能の普及に努めています。

懇親会のオープニングセレモニーで演奏を披露していただきます。

曲目：疾風怒涛(しっぷうどうとう)、山彦(やまびこ)



ご来賓名簿

《ご来賓》

音更町長 小野 信次 様

《ロータリー関係》

RI第2500地区ガバナー 鶴見 誠一郎 様 (紋別港RC)
パストガバナー 細川 吉博 様 (帯広北RC)
ガバナーエレクト 小谷 典之 様 (帯広西RC)
地区幹事 小林 正男 様 (紋別港RC)
次年度地区幹事 大友 広明 様 (帯広西RC)

第2分区ガバナー補佐 園部 一正 様 (美深RC)
第3分区ガバナー補佐 新田 守 様 (旭川RC)
第4分区ガバナー補佐 伊藤 晴之 様 (紋別RC)
第7分区ガバナー補佐 佐渡 正幸 様 (釧路北RC)

元ガバナー補佐 板倉 利男 様 (帯広東RC)
元ガバナー補佐 家内 裕典 様 (芽室RC)
元ガバナー補佐 伊藤 儀三 様 (帯広南)
元ガバナー補佐 佐藤 三幹 様 (帯広北RC)
元ガバナー補佐 曾根 一 様 (帯広東RC)
元ガバナー補佐 柴田 博美 様 (帯広南RC)
元ガバナー補佐 合田 倫佳 様 (帯広RC)
前ガバナー補佐 松原 光一 様 (帯広北RC)
次年度ガバナー補佐 小田 衣代 様 (帯広南RC)
次年度ホストクラブ会長 佐藤 みゆき 様 (帯広南RC)

ゲスト

第7分区 元ガバナー補佐 美馬 俊哉 様 (白糖RC)
第7分区 元ガバナー補佐 小野寺 英夫 様 (釧路北RC)
第7分区 森 武人 様 (白糖RC)
平井 昌弘 様 (釧路北RC)
篠原 恒也 様 (釧路北RC)
荒木 潤一 様 (釧路北RC)
第4分区 薩田 和明 様 (紋別港RC)

都市連合会登録クラブ

RI第2500地区第6分区(敬称略)

- ◆ 帯広ロータリークラブ(88名)
会長 工藤 大輔 幹事 猿川 陽介
- ◆ 帯広北ロータリークラブ(65名)
会長 石岡 幸雄 幹事 南出 雅樹
- ◆ 広尾ロータリークラブ(20名)
会長 二口 繁 幹事 堀田 真
- ◆ 芽室ロータリークラブ(21名)
会長 木村 淳彦 幹事 西川 一浩
- ◆ 足寄ロータリークラブ(29名)
会長 家常 尚詞 幹事 仙石 聡
- ◆ 清水ロータリークラブ(18名)
会長 浪江 稔昌 幹事 三田 英郎
- ◆ 上士幌ロータリークラブ(14名)
会長 長屋 光男 幹事 小島 徹
- ◆ 帯広西ロータリークラブ(87名)
会長 天野 清一 幹事 立崎 貴之
- ◆ 帯広南ロータリークラブ(66名)
会長 進藤 直哉 幹事 佐伯 大輔
- ◆ 帯広東ロータリークラブ(38名)
会長 池田 誠 幹事 加藤 肇
- ◆ 音更ロータリークラブ(42名)
会長 阿部 英輝 幹事 平尾 雅子
- ◆ 帯広ローターアクトクラブ(3名)
副会長 齋藤 悠希 幹事 遠藤 朋樹
(直前会長兼任)

2023-24年度
RI第2500地区第6分区
IM(都市連合会)実行委員会名簿

◆ 主 宰

ガバナー補佐 田 中 義 博 (音更RC)

◆ ホスト

ホストクラブ会長 阿 部 英 輝 (音更RC)
 コ・ホストクラブ会長 池 田 誠 (帯広東RC)
 ホストクラブ幹事 平 尾 雅 子 (音更RC)
 コ・ホストクラブ幹事 加 藤 肇 (帯広東RC)
 IM実行委員長 大 和 志 郎 (音更RC)
 IM副実行委員長 村 瀬 正 明 (音更RC)
 IM副実行委員長 若 原 幸 紀 (音更RC)

◆ 顧 問

ガバナー 鶴 見 誠 一 郎 (紋別港RC)
 パストガバナー 合 田 賢 二 (帯広北RC)
 パストガバナー 柴 田 和 明 (帯広西RC)
 パストガバナー 細 川 吉 博 (帯広北RC)

◆ S A A

佐々木 康 夫 (音更RC)

◆ ソングリーダー

佐 藤 和 徳 (音更RC)

◆ 司 会

佐々木 康 夫 (音更RC)

尾 崎 優 子 (音更RC)

◆ 総務委員会

委員長 早 川 靖 志
 副委員長 坂 本 夕 樹
 委 員 尾 崎 優 子
 中 西 眞 信
 白 木 幸 久 若 田 奈 緒 子

◆ 会場委員会

委員長	佐々木	康夫		
副委員長	長屋	正宏		
委員	向平	敏孝	黒川	明彦
	真鍋	克義	葛谷	克浩

◆ 懇親委員会

委員長	宇野	志亨		
副委員長	玉川	拓馬		
委員	高島	望		
	栗栖	亜矢佳	行木	隼人
	佐藤	祐司	作田	英実
	田中	守	阿部	幸男
	佐藤	和徳	渡辺	慎太郎

◆ 記録委員会

委員長	畠山	卓也		
副委員長	竹村	朱美		
委員	高橋	勇雄	佐藤	浩司

◆ 登録・会計委員会

委員長	島田	貴俊		
副委員長	中山	浩介		
会計監査	室谷	直義	山本	英明

◆ 接遇委員会

委員長	小枝	秀則		
副委員長	黒川	吉一		
委員	谷口	善一		

◆ 救護委員会

委員長	後藤	幹裕		
副委員長	佐治	清隆		
委員	棟方	隆		